

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0078

令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)			
事業名	小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業			担当部局庁	初等中等教育局	作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	教育課程課	教育課程課長 常盤木 祐一	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	・「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」(答申)(平成28年12月) ・「教育振興基本計画」(令和5年6月16日閣議決定) ・「経済財政運営と改革の基本方針2023」(令和5年6月16日閣議決定)		
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり			主要経費	教育振興助成費		
施策	2-1 確かな学力の育成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-2_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	平成28 年12 月に中央教育審議会において取りまとめられた「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」(答申)及び平成29 年に改訂された小学校・中学校学習指導要領、平成30年に改訂された高等学校学習指導要領等を踏まえて、外国語教育の強化を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	小・中・高等学校と一貫した英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、英語教育を抜本的に強化した学習指導要領を令和2年度から順次実施しているところ、小学校での英語教育の大幅な充実や中学校・高等学校における生徒の発信力(話す・書く力)の強化といった、今回の改革を着実に実施し、英語教育の改善・充実のための持続可能なPDCAサイクルを確立するため、英語教育実施状況調査等で明らかになった課題の解決に向けた取組や、指導力強化のための取組等の推進が必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	小・中・高等学校を通じた英語教育の強化を図るため以下の事業を実施。 ・英語教育改善プラン推進事業 ・先導的なオンライン研修実証事業 ・小学校外国語のための免許法認定講習等実施事業 ・JET プログラムによる外国語指導助手来日時研修事業 ・グローバル化に対応した外国語教育推進事業 ・新たな外国語教育に対応した条件整備事業						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	380	401	352	302	350
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	5	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 5	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	375	406	352	302	350	
	執行額(G)		176	263	242		
	執行率(%) =(G)/(F)		47%	65%	69%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		46%	66%	69%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		初等中等教育振興費		AI等のデジタルを活用した生徒の発信力の向上等、新たな教育課題に対応するため、増額要求(要望額)。 適正な事業執行の観点から、「英語教育改善プラン推進事業」は令和5年度をもって廃止。 ※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 重要政策推進枠 140百万円		
		(目)	初等中等教育振興事業委託費	157		205	
		(目)	教職員研修費	142		142	
		(目)	諸謝金	2		2	
		(目)	職員旅費	1		1	
			その他	0		0	
計(A)		302	350				

活動内容① (アクティビティ)		都道府県教育委員会等が策定している「英語教育改善プラン」の取組の中で、英語教育実施状況調査等で明らかになっている課題への対応や、ICT機器を活用した指導方法の開発等を支援する。また、取組内容を公表し、成果物の活用を促進することにより、全国的な英語教育の改善・充実を図る。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		英語教育の改善のため効果的かつ持続可能な取組の実施	英語教育改善プラン推進事業実施都道府県等教育委員会等の数 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により事業を中止。 ※1件あたりの単価は年々増加。	活動実績	件数	－	36	13	－	－	
				当初見込み	件数	－	36	13	9	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	英語教育の改善・充実を図るため、英語教育改善プラン推進事業を実施する都道府県等教育委員会等の数を活動指標に設定するとともに、改善・充実の状況を把握するため、中学生の英語力に係る定量的な指標を設定する。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		中学3年生で英検3級程度(CEFR A1レベル)以上を有する生徒の割合を60%以上に引き上げる。	中学3年生で英検3級程度(CEFR A1レベル)以上を有する生徒の割合 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により調査を中止。	成果実績	%	－	47	49.2	－		
				目標値	%	50	50	50	60		
				達成度	%	－	94	98.4	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度 英語教育実施状況調査									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		成果の測定にあたっては、設定している指標で十分であり、他に適当な指標がないため。									

活動内容② (アクティビティ)		都道府県教育委員会等が策定している「英語教育改善プラン」の取組の中で、英語教育実施状況調査等で明らかになっている課題への対応や、ICT機器を活用した指導方法の開発等を支援する。また、取組内容を公表し、成果物の活用を促進することにより、全国的な英語教育の改善・充実を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		英語教育の改善のため効果的かつ持続可能な取組の実施	英語教育改善プラン推進事業実施都道府県等教育委員会等の数 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により事業を中止。 ※1件あたりの単価は年々増加。	活動実績	件数	－	36	13	－	－
				当初見込み	件数	－	36	13	9	－
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	英語教育の改善・充実を図るため、英語教育改善プラン推進事業を実施する都道府県等教育委員会等の数を活動指標に設定するとともに、改善・充実の状況を把握するため、高校生の英語力に係る定量的な指標を設定する。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		高校3年生で英検準2級程度(CEFR A2レベル以上)を有する生徒の割合を60%以上に引き上げる。	高校3年生で英検準2級程度(CEFR A2レベル)以上を有する生徒の割合 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により調査を中止。	成果実績	%	－	46.1	48.7	－	
				目標値	%	50	50	50	60	
				達成度	%	－	92.2	97.4	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度 英語教育実施状況調査								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		成果の測定にあたっては、設定している指標で十分であり、他に適当な指標がないため。								

[illegible]



